

2014
第2号

平成26・12・15発行

奉賛会会報

新川神社新庄御鎮座四百年記念事業奉賛会



ごあいさつ

奉賛会会長 貫江 和夫

師走の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

今年も水害や土砂災害に見舞われた地域、御嶽山の水蒸気爆発による被害など多くの自然災害がありました。霊峰立山の麓に住む私たちにとって他人事には思えなく、あらゆる場面を想定して生活す

る必要性を感じさせられた1年でありました。

さて、平成23年度末から活動しました『新川神社新庄御鎮座四百年祭奉祝奉賛記念事業』も3年が経過し、募金活動に一定の目処を付けることができました。

役員会等で募金状況報告をさせていただき、二次募金などで重ねて多くの皆様のご協賛をいただきました。この紙面をお借りして感謝申し上げます。“本当にありがとうございました！”

当初は、参集殿建設費用を含む総事業費として7千万円を見込んでおりましたが、日本経済が好転しないため、予想外に企業様の厳しい現状を知ることとなりました。加えて、物価高・労賃高が拍車をかけているため、記念事業計画の規模縮小など見直しをせざるを得なくなりました。

また、参集殿の建設にあたっては、業者選定をし、完成図・設計図に基づき、建設委員会や役員会等で審議しました。

今回は、皆さまにその内容等をお知らせいたしたく、会報を作成しました。

なお、記念大祭を平成28年度に開催する予定で進めておりますので、期間いっぱいの奉賛活動を展開し、ご協賛のお願いをしていく所存でおりますので、加えてご理解を賜りますようお願い申し上げご挨拶といたします。



北西側（正面）から見た完成予想図

詳細画像は新川神社のホームページをご参照下さい。

<http://niikawajinja.com>

これまでの経過報告

事務長 今井 清隆

1. 新川神社奉賛会の全体会議（総会）が平成 26 年 3 月 24 日に開催されました。平成 25 年度事業報告では、奉賛金が低調であることが説明され、26 年度計画では、会則と役員改正が提案されて、それぞれ承認されました。

また、400 年大祭に向けての推進体制を明確にするため、総務、広報、建設及び慶祝の 4 委員会が設置されることになりました。

2. 建設委員会（坂野忠雄委員長）の第 1 回会議が 7 月 7 日に開かれました。事務局からは、奉賛金が目標額より大幅に下回ったことの報告や、宮司家から参集殿の将来的な利用目的や地域との関わり方についてお話がありました。会議では各社から出された計画プラン（建物 70 坪）内容の検証をおこないました。

また、奉賛金が見込額より大幅に少ないことへの対応策についても協議されました。その結果、参集殿建設の予算額は、当初予定よりある程度の縮減もやむを得ないことを申し合わせました。

3. 常任理事会の第 1 回の会議が 8 月 11 日に開催されました。事務局より、経過報告と奉賛金の現状報告が行われ、さらに建設委員会の会議報告がおこなわれました。

主な協議事項は、奉賛金が低調であることから、今後の募金活動について話し合いました。その結果、参集殿建設予算額は 5,000 万円、そのほか大祭費、広報費、駐車場整備費及び、外構整備費等の全体像を決めました。

また、建設委員会からは、参集殿の設計・施工業者 3 社から絞り込みをおこなった報告があり、(株)オリバーが推薦されました。

今後の進め方は、基本計画をその後の常任理事会で承認を得た後に契約することとなりました。

4. 第 2 回目の建設委員会が 8 月 26 日に開催されました。

常任理事会の決議事項を受けて、今後の(株)オリバーとの打合せ作業内容について協議をおこないました。

具体的には、参集殿の建設費は地盤改良費を含め総額 5,000 万円であることや、参集殿のコンセプト（概念）などを協議しました。

5. 第 2 回目の常任理事会が 11 月 28 日に開催されました。

(株)オリバーからの基本計画について協議され、原案のとおり承認されました。

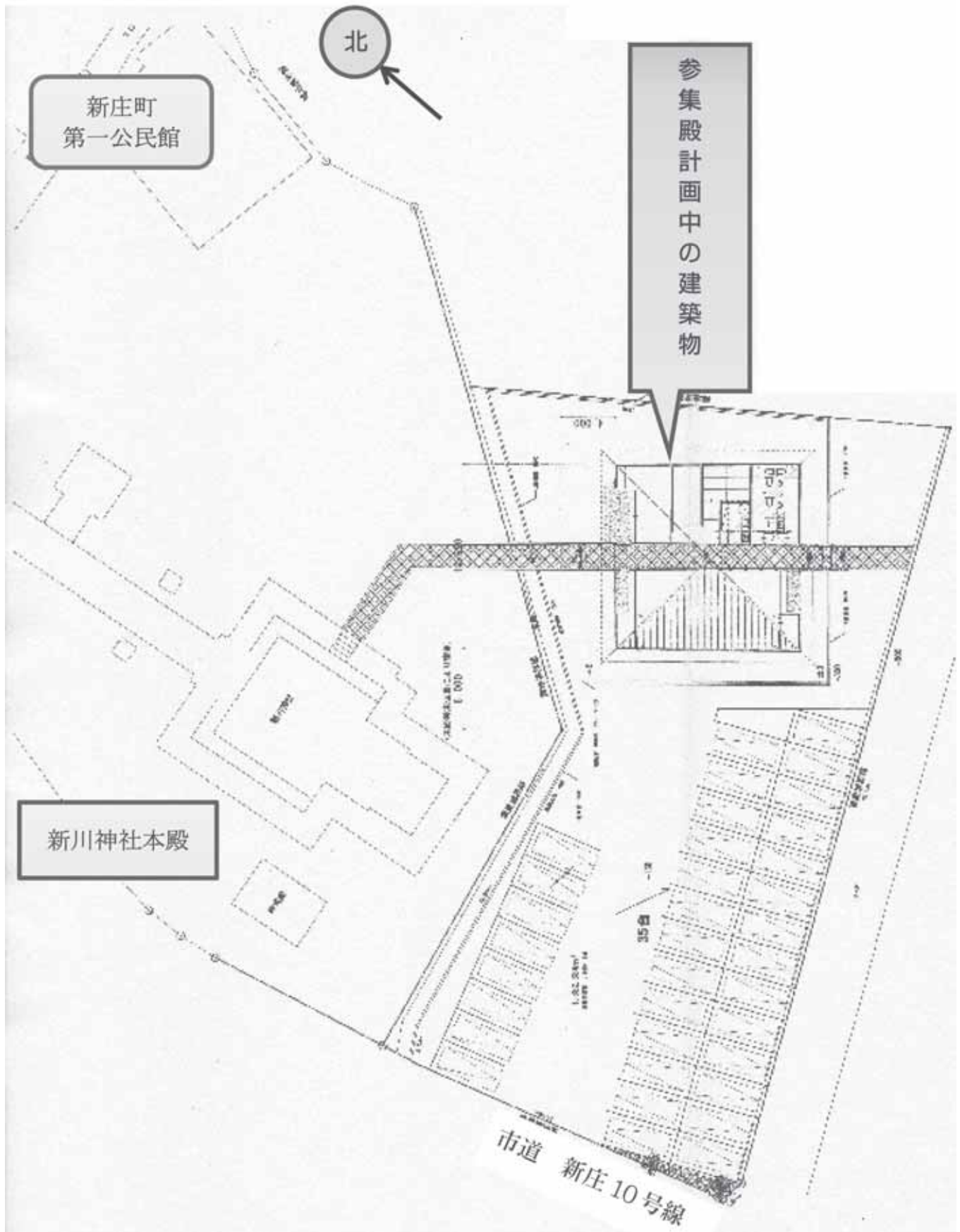
6. 奉賛金同意額の現状報告

H26.11.13 現在

(単位：千円)

新庄町第一 17,414	新庄町第二 4,586	新庄町第三 5,305	新庄町第四 3,228	新庄銀座三丁目 1,463
新園町 3,331	新庄東部 1,439	上庄町 702	新庄銀座 399	氏子計 37,867
宮司家・縁故者 14,303	企業・会社 11,690	宮司家・企業計 25,993		合計 63,860

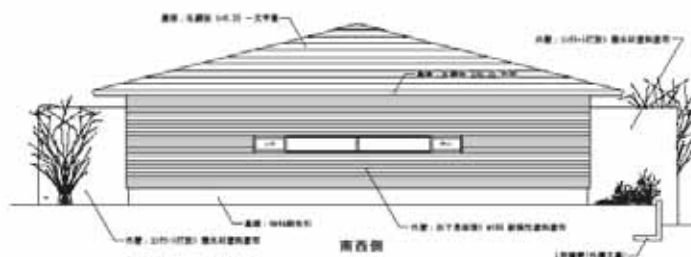
【位置図】



立面図

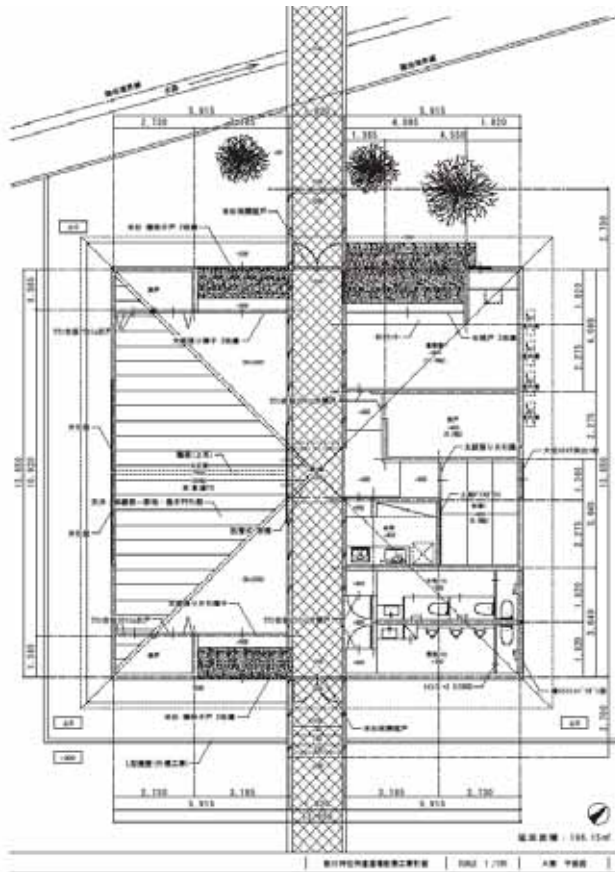


北西側



南西側

平面図



床面積
 196.15 m²
 (59・33 坪)

建物の大きさ
 13.65×13.65m
 (7.5 k×7.5 k)

右側：社務所
 台所
 トイレ
 など

左側：大広間
 納戸
 など

中央：通路
 (幅 1.82m)

参集殿（神道道場）の基本計画が固まる

1. 参集殿（神道道場）の概要

★基本構想

- (ア) 本殿と南東側地域の関係を分断せず、通路を設けることで、その関係を繋げる役割をもった建築物とする。
- (イ) 地域の行事や神社の行事（雅楽・古事記の研修会・田んぼ学校）等、神道道場として、幅広く多目的にコミュニティー施設として活用出来ることをコンセプトとした参集殿（神道道場）とする。

★建物の特徴

- (ア) 神道道場として、ほぼ正方形で木造平屋建てのシンプルな建築物とし、美しく神社らしい雰囲気になるよう配慮した。
- (イ) 建物中央には、地域と本殿を繋げる幅 1.8mの通路を配置することで土足のまま通り抜けを可能にした。
北側には、事務室、台所、納戸、男女トイレなどを、南側には、畳敷き大広間を配置した。
- (ロ) 外壁は素朴な材料である杉板を下見板張りとした。
- (ハ) 内部空間は、畳敷き 39 畳の大広間（集会約 100 名、会議 47 名）を確保し、天井は、中央部分が高く、開放的な大空間を演出している。
社務所は、間口が 4mのカウンター付きの大きな窓を設け、境内全体を見渡せるよう配慮した。
- (ニ) 通路の壁には、新川神社、地域の歴史などを紹介する展示パネルを掛けられるようにした。

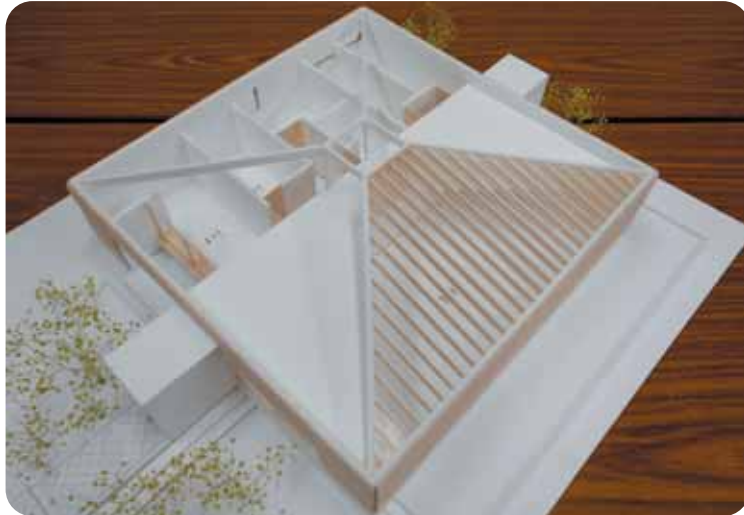
★建設費等その他

- * 建設費総額：5,000 万円（諸経費・消費税込）
- * 平成 26 年 11 月 28 日の新川神社奉賛会常任理事会にて承認されました。
今後、奉賛会建設委員会で更に細部に亘って煮詰めていくことを確認いたしました。

2. 基本計画（仕上げ表）

- * 木造平屋建て鋼板葺、延べ床面積：196.15㎡（59.33 坪）
- * ベタ基礎、RC 躯体
- * 通路：天井：杉板張り、床：土間（モルタル仕上げ）
壁：コンクリート打放し、ビニールクロス張り撥水性塗装塗布、モルタル
- * 木工事：構造プレカット
- * 屋根工：GL 鋼板
- * 外壁工：杉下見板張り 耐候性塗装塗布
- * 内装工：天井：斜線部吹き抜け
- * 大広間：畳敷き 39 畳
- * 事務室：複合フローリング
- * その他：給排水衛生工事 電気設備工事 照明工事 換気空調工事

3. 内部構造図（模型）



右側：大広間

左側：社務所・台所・トイレ等

中央：南北通り抜け通路

400年大祭に向けての準備が進められています

新川神社 禰宜 船木 信孝

本年10月に「みこし担ぎ伝授講習会」を開催しました。昨年より若衆と「お宮で飲もう会」を通じて話をしている中で、来る平成28年には元々の鎮座地である五本榎から遷宮された道筋を再現する神輿渡御をしたらどうか、その時に各町内の子供神輿も一同に集まって、みんなで「わっしょい、わっしょい」すれば圧巻ではないか、という素晴らしいアイデアを聞きました。これの実現に向けて講師に香積廣野神社二宮宮司をお招きして実際に神輿を担ぐ練習と神輿担ぎのコツを習いました。昔は新庄町若衆が神輿を担いで、荒川や綾田、経堂まで練り歩いたと年配の方から聞きます。この400年を契機としてなんらかの形で復活したいと考えています。将来的には地元の子供達が「大人になったらあれを担ぐ男になるがじゃ」と、新庄町若衆が子供達のあこがれの的になるような、威勢の良い春祭りになれば良いですね。

祭りの主役は氏子です。神様は祭りを「お受けになる」お立場ですので主役というよりは主賓にあたります。神主は神様と氏子の仲取り持ちです。若衆が神輿を威勢良く担ぐ姿が地域の人々に活力を与える事と確信しております。

そもそも「祭り」とはそういうものではないでしょうか。

参集殿建設に着手

奉賛会副会長 細川 茂

当初、計画していた構想を縮小しましたが、氏子の皆様のご協力で、予定通り念願の新川神社参集殿の建設を実施する運びとなり、ここにご報告いたします。これには、氏子の方々の奉賛金に加えて、氏子以外の個人や企業からも多大なご寄付をいただいたことも付け加え、ここに心からの御礼と感謝を申し上げます。

しかしながら、経過報告にもありますように建物自体は縮小しましたが、大祭経費や広報費、駐車場整備などの**予算におよそ400万円不足**していることから、先の役員会で再度、皆様方のご支援をお願いすることになりましたので、よろしくようお願い申し上げます。